

平成30年度選定評価委員会評価結果に対する改善状況

施設名	文化芸術センター、ローズ文化ホール、文化芸術センター等駐車場
所管部局	都市活力部文化芸術課

整理番号	内容	措置の内容又は対応の状況	進捗状況
豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会			
1	文化芸術センター展示室・多目的室両室の年間平均利用率について、確保すべきサービス水準をクリアするよう取り組まれない。	・市共催による催事等の機会を通じて、施設認知度の向上や貸館利用の拡大につながっている。さらなる利用率向上の取り組みとして、指定管理者主催によるコンサートや企画展での活用を進めており、平成30年度期中の目標水準達成を見込んでいる。	措置済み
2	「人材育成・ボランティア組織コーディネート事業」について、講座実施後の実証例等、成果を示すよう取り組まれない。	・レジデントアーティストとアートコーディネーターの育成を目的とした人材育成事業の実施を計画している。育成アーティストによる公演活動やアウトリーチ活動など、事業における成果報告および検証を継続的に行う。 ・大阪音楽大学コミュニケーション専攻学生によるロビーコンサートやプロデュース公演実施など、企画立案から制作、票券、当日の運営業務についてホール職員がアドバイザーとして多角的に助言を行っており、アートマネジメントの実践の場としての効果を生んでいる。今後も定性的な評価検証を継続する。 ・2017年度より継続している「針山愛美ダンスプロジェクト」については、これまでワークショップの成果発表において高い公演成果を得ている。また、市民によるホール発の新しい文化創造活動としての効果についても今後検証を行うことで、事業成果の可視化を図っていく。 ・ほか、サポートクルー（ボランティアレセプション）育成事業や大学生を対象としたインターンプログラムについても、定量的定性的側面から評価および報告を行うことで、事業実施における成果の可視化を図る。	対応中
3	鑑賞事業におけるクラシック以外のジャンルの展開や、選定時の提案にあった著名音楽祭の誘致に取り組まれない。	・今後も国内外の優れたアーティスト、舞台芸術団体の公演をはじめ、幅広いジャンルで独自性や地域性の高いプログラムなど魅力的な鑑賞事業を継続的に提供していく。 ・国際交流をテーマにした音楽祭の代替事業として「トロンボーン国際フェスティバル(コンクール)」2020年度夏の開催誘致に向け調整を進めている。	対応中
4	選定時の提案にあった事業のうち未実施事業の実現に取り組まれない。	・登録アーティスト制度(アーティストバンク)および公募によるレジデンシャルカンパニー事業の取り組みとして、H31年度より、レジデントアーティストとアートコーディネーターの育成を目的とした人材育成事業「とよなかARTSワゴン」の実施を計画している。本事業の実施を通じて、アーティストバンク制度の活用や地域におけるコーディネーター人材の育成を継続的に図る。 ・オープンスペースを利用した市民が憩えるイベントの実施については、今後、ロビーコンサートのほかカフェ等を活用した小規模イベントを計画実施する。 ・聴覚障害者の方でも参加できる字幕付き映画上映の定期開催のほか、バリアフリーに対応した舞台芸術プログラム(コンサート等)の実施に向けた計画を現在進めている。	対応中
5	「友の会事業」の特典の内容等を分かりやすく伝えるよう取り組まれない。	・ホール情報紙やチラシでのサービス紹介のほか、ホームページでの優待店舗一覧、SNSを活用した優待店舗の写真掲載など、特典内容のわかりやすい紹介に努めている。 ・優待店舗の協力によるピュッフェサービス(一部主催公演)を提供し、市内優待店舗、特典内容の認知度向上に努めている。 ・今後、特典内容の充実など友の会の魅力アップに向けた取り組みをすすめるとともに無料会員(インターネット会員)の拡大を図ることで会員数の拡大を図る。	対応中
6	「広告・宣伝事業」について、文化芸術センターの認知度を上げるよう取り組まれない。	・市広報誌挟み込みサービスの活用や近隣地域でのポスティングなど、市内における認知度の向上に取り組んでいる。 ・年間ラインナップフリーレットの作成やホームページのリニューアルに取り組む、情報発信における訴求力の向上を図った。 ・有名フリーペーパーやクラシック専門誌などへの広告出稿をはじめ、フェイスブックやツイッターなどSNSメディアを活用した情報発信を通じて、広域における認知度の向上に取り組んでいる。	対応中

7	市民や団体等との連携の取組みを進められたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内NPOとの連携による音楽普及プログラムの実施、市外NPOと連携したオリジナル音楽プログラムの創造、市内子育て支援団体の協力による交流イベントや団体発行のフリーペーパーを活用した情報発信など、地域活動団体との連携による事業展開に継続的に取り組んでいる。今後もさまざまな団体との連携を積極的に取り組むことで交流型事業成果の獲得をめざす。 ・地元商店街催事へのブース出店やステージイベントへの参加など地域団体との連携に取り組んでいる。今後は豊中まつりや青年会議所との連携によるイベント等の取組みを計画実施する ・これまで大阪大学との連携事業として絵画特別展を開催した。今後も大学等との事業連携を積極的に図っていく。 ・公募の市民合唱団、大阪音楽大学等との連携による「豊中第九」公演の継続的な実施や、近隣公共施設との連携による公演などの取組みを推進する。 	対応中
8	施設・設備の点検もれ等の再発防止に取り組まれたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種点検業務の年間作業(実施管理)予定表の整備による業務進捗状況の可視化を図るとともに、月次で各業務の実施状況を把握することで点検漏れ等の再発防止に取り組む。 	措置済み
9	構成団体の一部に財務状況上の問題があることについて、指定管理事業へ影響がないよう対策に取り組まれたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、構成団体の一部について、収支改善および事業継続に向けた経営改革を実行しており、指定管理事業への影響が出ないように対策に取り組んでいる。 	対応中
10	事業の収支につて、予算と決算に乖離のある費目が生じることのないよう取り組まれたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去実績にもとづく適正な予算計画を策定するとともに、費目毎の予算執行状況の把握により精度の高い予算実績管理を実行する。 	対応中
11	苦情対応マニュアルの整備を行われたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やクレーム発生時の対応手順や事案リスト化、報告フローなど定めた苦情対応マニュアルを整備し、職員への教育機会を通じて接遇面での質的向上を図る。 	対応中
12	労災事故についての労働基準監督署への報告漏れの法令違反があったことについて、対応と再発防止に取り組まれたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、同様の事故が発生した場合は速やかに所管労働基準監督署に報告を行うよう各社本部部門への指示を行い、再発防止に取り組んだ。 	措置済み